

# Topic

令和2年度

## 営繕部におけるインターンシップの受入について

### 営繕計画課

北海道開発局では、さまざまな業務を体験し、社会資本の役割を理解していただくこと、および現地で体験を通じて、学生の学習意欲の喚起や資質の向上等を目的として、大学及び高等専門学校（大学院及び短期大学含む）並びに北海道内の高等学校及び専門学校生を対象として、学生の夏期実習（インターンシップ）を受け入れています。

令和2年度は、短期コースとして3日間の体験コースと、通常どおりの5日間の体験コースが設けられ、当営繕部では、短期コースで2名と、通常コースで1名の学生を受け入れて、インターンシップを実施しましたので、以下のとおり報告します。

#### 【短期コース日程】

実施期間：令和2年8月24日(月)～8月26日(水)

#### 【通常コース日程】

実施期間：令和2年8月31日(月)～9月4日(金)

#### 【学生詳細（短期コース）】

1. 北海学園大学工学部建築学科 3年 の学生 1名
2. 北海道科学大学工学部都市環境工学科 3年 の学生 1名

#### 【学生詳細（通常コース）】

1. 北海学園大学工学部建築学科 3年 の学生 1名

#### 【カリキュラム（短期コース）】

	8:30	8:45	9:00	9:15	9:30	9:45	10:00	10:15	10:30	10:45	11:00	11:15	11:30	11:45	12:00~	13:00	13:15	13:30	13:45	14:00	14:15	14:30	14:45	15:00	15:15	15:30	15:45	16:00	16:15	16:30	16:45	17:00
1 日目	営繕計画課		営繕調整課		営繕計画課		昼食	営繕計画課		保全指導・監督室																						
	研修 ガイダンス + 庁舎の案内	開発局の仕事 営繕の仕事	建物が増つ ま でに (調査・調整) (環境対策)	合同庁舎の新営 計 画について (庁舎建設の必要性、 関係官署との協議、予 算・工程)	合同庁舎の新 営 計 画について (庁舎建設の必要 性、関係官署との 協議、予算・工程)	室内ミー テ ィ ン グ (保監室ス タ ッフ紹 介・部議報 告等)		保全指 導・監督 室の仕事 (工事監 理・保全指 導)	札幌第3合同庁舎 (施設概要説明及び施設見学)																							
2 日目	営繕整備課		営繕整備課		営繕整備課		昼食	営繕整備課		営繕整備課																						
	課 内 ミー テ ィ ン グ	設計業務 の流れ (基本設計 と実施設 計)	庁舎主要室等 見学 【札幌第1合同】	CADの使い方 (CAD講習会資料等)	設計業務の 基本設計につ いて (演習に必要な 箇所の設計基準 の説明)	==演習== 庁舎の基本設計 (フリーハンドによる作成)		演習の 考察																								
3 日目	営繕調整課		営繕品質調査		営繕品質調査		昼食	技術・評価課		開発調整課		共通		共通																		
	建物が増 つてから (保全状況) (環境対策・改修) (相談窓口)	積算業務 概要説明 (相談窓口)	積算業務の流れ (建築 見積検証等)	業務概要 説明	WLB及び 採用スケ ジュール説明	懇談会 (メンバー：近年採用者)		レポート (日誌) 取り纏め																								

## 【カリキュラム（通常コース）】

R2 インターンシップ スケジュール(案)																																																															
8:30		8:45		9:00		9:15		9:30		9:45		10:00		10:15		10:30		10:45		11:00		11:15		11:30		11:45		12:00~		13:00		13:15		13:30		13:45		14:00		14:15		14:30		14:45		15:00		15:15		15:30		15:45		16:00		16:15		16:30		16:45		17:00	
1 日目	営繕計画課				休憩	営繕調整課				昼食	営繕計画課				休憩	技術・評価課				開発調整課				営繕計画課																																							
	研修 ガイダンス + 庁舎の案内					建物が建つま でに (調査・調整) (環境対策)					建物が 建ってから (保全状況) (環境対策・改修) (相談窓口)					合同庁舎の新営計画について (庁舎建設の必要性、 関係官署との協議、予算・工程)				業務概要 説明				WLB及び 採用スケジュール 説明				初日を終 えて (意見交 換)																																			
2 日目	営繕整備課				休憩	営繕整備課				昼食	営繕整備課																																																				
	課 内 ミー ティ ング		設計業務 の流れ (基本設計 と実施設 計)			庁舎主要室等 見学 【札幌第1合同】		CADの使い方 (CAD講習会資料等)			設計業務の 基本設計につ いて (演習に必要な 箇所の設計基準 の説明)		==演習== 庁舎の基本設計 (フリーハンドによる作成)																																																		
3 日目	営繕整備課								昼食	営繕整備課																																																					
	==演習== 庁舎の基本設計 (CADによる図面作成)									==演習== 庁舎の基本設計 (CADによる図面作成)								演習の考 察		レポート (日誌) 取り纏め																																											
4 日目	保全指導・監督室				移動	札幌第3合同庁舎 (施設概要説明及び施設見学)				昼食	営繕計画課																																																				
	室内ミー ティ ング		保全指 導・監 督室 の仕事 (工事監 理・保全指 導)			官庁施設(完成施設) & 土木営繕事業(工事中) 見学 【札幌、小樽市内: 札幌開建合同庁舎、小樽港湾合同庁舎、ハローワーク小樽 等】 【小樽開建事業: 塩谷トンネル電気室、美園漁港屋根付き岸壁 等】																																																									
5 日目	営繕品質調査				休憩	共通				昼食	共通				共通																																																
	積算業務 概要説明		積算実務の流れ (建築 見積検証等)			懇談会 (メンバー: 近年採用者)					リクルートに関する説明等				レポート (日誌) 取り纏め																																																

## 【内容と感想（共通・1日目）】

短期コースも通常コースも、初日は、北海道開発局の営繕部門が、どのような仕事をし、どのよう



合同庁舎計画の立案をするインターンシップ生

に社会に係わっているかを知ってもらうためのガイダンスから始めました。つづいて、事業の具体的な内容を知ってもらうため、営繕調整課の担当により、建物が建つまでの調査・調整・環境対策について座学で勉強し、その後、営繕計画課による合同庁舎新営計画の立案を、演習形式で実施しました。演習では、実在する地域をモデルに、合同庁舎に入居する官署を選定し、防災面における国民の安全安心の他、地域のまちづくりや国有財産の有効利用などの面から構想も検討してもらいました。また、施設の必要床面積の算定や予算要求資料の作成などの方法をエクセルを用いて計算するなど、実際に手を動かし、普段の業務に近い体験をしてもらいました。

学生からは、「学校では習わない街づくりのプランは楽しかった。」「国民の皆さんへのサービスのために使われる庁舎を限られた予算の中で、より良いものを作れるように努力することにやりがいを感じた。」と、感想をもらいました。

その後、短期コースでは、札幌第3合同庁舎の外壁改修の現場を訪れ、足場に登って、施工者による打診検査に立ち会いました。参加してもらった学生には、様々な現場を見てもらいたいと考えていましたが、短期コースでは時間が限られているため、近隣の代表的な現場を見てもらうだけとなりました。

体験した学生からは、「現場で実際に体験できたのは楽しかった。」と、感想をもらいました。

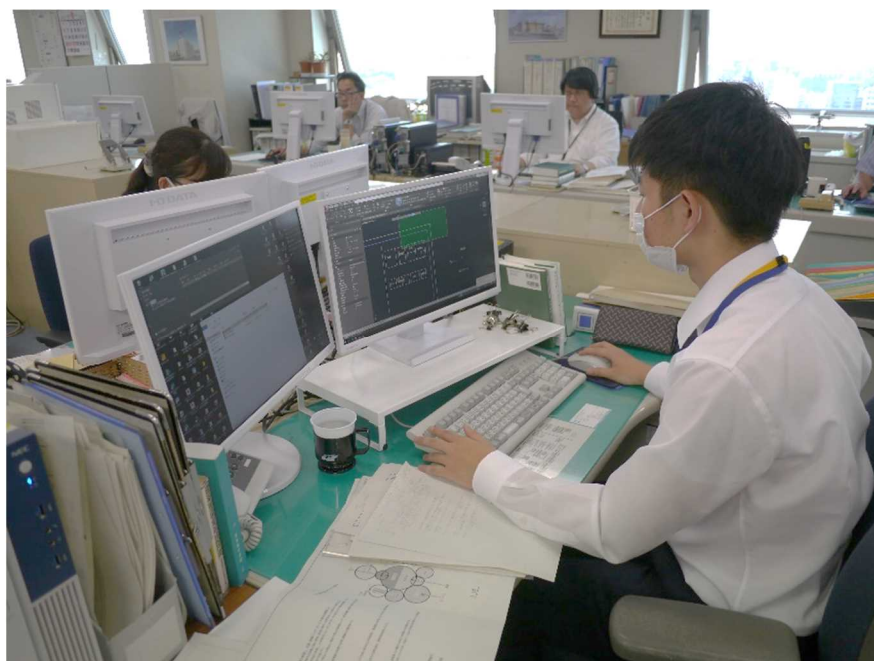


打診検査を体験するインターンシップ生

#### 【内容と感想（短期コース2日目・通常コース2～3日目）】

短期コースおよび通常コース共に、2日目は、営繕整備課にて、設計に関する内容を1日を通して体験してもらいました。まず、設計において必要な基礎知識として、札幌第1合同庁舎の主要室を見学し、庁舎整備に必要な様々な設備機器などを見てもらいました。

実際の設計演習では、施設基本設計と実施設計についての説明から始まり、CADを使って実際に



基本設計の一部を体験してもらいました。使用したCADソフトは、学生が普段使用しているものではありませんでしたが、「問題なく使用できた。使いやすかった。」と、学生の対応力の高さも見られました。

その他、通常コースでは、庁舎の配置計画や各室のゾーニング計画など、様々な検討に時間をかけて取り組んでももらいました。

CAD演習の様子



### 【内容と感想（通常コース4日目）】

短期コースでは、初日に近隣の改修工事の現場を体験して貰いましたが、通常コースでは、同工事の現場の他、事業営繕（土木工事等に付帯する建築工事等）の現場にも出向き体験してもらいました。現場見学にあたっては、小樽開発建設部施設整備課に協力いただき、塩谷トンネル電気室の新築工事や、美国漁港屋根付き荷捌き施設など、代表的な事業営繕工事を見学しました。コンクリート打設前の配筋検査では、主筋やあばら筋など配筋ピッチの確認や、鉄筋の溶接力所の確認などを行い、施工者の説明を真剣に聞いていました。

参加した学生からは、「デスクワークだけではなく、実際に現場に出向くことで、より理解ができると感じた。」「発注者としての立場で、確かなものを施工してもらう大切さを感じた。」と感想をもらいました。



図面との整合性をチェックするインターンシップ生

### 【内容と感想（短期コース3日目・通常コース5日目）】

最終日は、積算業務、検査業務などを勉強しました。その他、通常コースでは、（短期コースでは初日に実施）北海道開発局によるワークライフバランスなどの取組の他、公務員試験を受験するための基礎を開発調整課の担当係長よりレクチャーしてもらい、全てのカリキュラムを修了しました。学生からは、「積算や検査なども業務として行っていることは今回の体験を通じて初めて解った。」「公務員試験の勉強方法など、大変参考になった。」と、感想をもらいました。

### 【まとめ】

インターンシップに参加する多くの学生は、進学か？就職か？を決めかねており、また、就職の場合も、民間か？公務員か？など、様々な選択肢をもって1年後の進路を悩みながら参加されています。私共も、そのような学生さんに対して、すこしでも北海道開発局の営繕事業の役割を理解いただくため、カリキュラムを検討し、多くの体験をしてもらえるよう対応していますが、3～5日で全てを理解してもらうことは困難です。その短い期間ではありますが、業務の一端でも理解いただき、北海道開発局の営繕業務にもやり甲斐を見いだしてもらえれば幸いです。

なお、本年度のインターンシップ募集は終了しましたが、毎年5月頃に参加を募集し、7月下旬から9月上旬の1～2週間の期間で実施していますので、参加をお待ちしています。

インターンシップの受入については、北海道開発局のホームページをご覧ください。

[https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gi\\_jyutu/ud49g70000008nj4.html](https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/jg/gi_jyutu/ud49g70000008nj4.html)